

報 告 1

草津市地域公共交通網形成計画における各施策の取組状況について

草津市地域公共交通網形成計画における各施策の取組状況について、別紙のとおり報告します。

草津市地域公共交通網形成計画における各施策の取組状況について

資料4

多様な交通手段の連携や、まちなかでの交通環境整備を進めながら、公共交通の利便性の向上を目指します					今後の対応
①公共交通の利便性に満足している市民の割合	現況(2017年) 41.6%	➡	現在(2022年) 45.9%	➡	目標(2028年) 47.0%以上 動態調査等により公共交通のニーズを把握し、バス事業者等と連携し、バス路線の再編やダイヤ改正等、公共交通の利便性の向上を図る。
誰もが愛着のある草津市に末永く暮らしていくために、公共交通サービス水準の維持向上を目指します					今後の対応
②公共交通の運行路線数	現況(2017年) 48路線	➡	現在(2022年) 53路線	➡	目標(2028年) 48路線以上 引き続き、バス事業者等と連携し、公共交通路線の維持を図る。
健康で人や環境にもやさしい生活形成を推進していくため、自家用車に過度に頼らない意識の向上を目指します					今後の対応
③運転免許証保有率	現況(2017年) 66.6%	➡	現在(2022年) 66.5%	➡	目標(2028年) 66.6%以下 引き続き、滋賀県警察等と連携し、運転免許証自主返納の促進に取り組む。

基本施策1 多様な交通手段を織りなし、移動を円滑につなぐ公共交通

個別施策	事業展開スケジュール									実施主体	R4 取組実績	R5 取組予定	
	(前期)			(中期)			(後期)						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8				R9
施策1 持続可能な公共交通網の形成													
(1)路線バスやコミュニティバス路線の再構築 ・複数事業者間で重複する路線の再編 ・地域の需要に対応したコミュニティバスの再編	検討・準備				実施							・まめバス「商店街循環線」の一部について、令和4年10月1日から運行経路を変更した。[市] ・まめバス「草津駅下笠線」の利用状況等を踏まえ、令和4年11月1日から本格運行に移行した。[市]	・動態調査、地域とのワークショップに基づき、コミュニティバスの再編の検討する。[市]
(2)バスの路線確保に向けた支援の検討 ・基幹路線などのバス路線への一部補助の検討 ・公共交通機関の利用促進を図る支援の検討	検討・準備				実施							・原油価格高騰の中で、運行を維持する市内の交通事業者に対して、補助金を交付した。[市] ・基幹路線であるバス路線「近江大橋線」を維持するため、補助金を交付した。[市] ・原油価格高騰などにより厳しい状況に置かれている地域公共交通事業者を対象に補助金を交付した。[県] ・地域間幹線系統の「近江大橋線」の維持確保のため、国および市と協働して補助金を交付した。[県] ・草津市デマンドタクシー「まめタク」について、新たに県コミュニティバス運行対策費補助の対象路線とし、補助金を交付した。[県] ・令和4年事業年度(R3.10.1～R4.9.30)について、バス路線「近江大橋線」について、地域間幹線系統確保維持費国庫補助金を申請額どおり交付した。加えて、まめバスの5路線(笠縫東常盤線・山田線・上笠平井循環線・商店街循環線・草津駅医大線)について、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金を申請額どおり交付した。[国]	・「草津市地域公共交通網形成計画」の基本施策に基づき、公共交通機関の利用促進を図る支援を引き続き検討する。[市] ・基幹路線であるバス路線「近江大橋線」を維持するため、補助金を引き続き交付する。[市] ・地域間幹線系統「近江大橋線」やデマンドタクシー「まめタク」について引き続き支援を実施する。[県] ・令和5年事業年度(R4.10.1～R5.9.30)については、バス路線「近江大橋線」を対象とする地域間幹線系統確保維持計画を認定した。加えて、まめバスの6路線(笠縫東常盤線・山田線・上笠平井循環線・商店街循環線・草津駅医大線・草津駅下笠線)を対象とする地域内フィーダー系統確保維持計画を認定する。[国]
(3)ICTの活用や自動運転技術の導入検討 ・スマートフォンのGPS機能を活用した効率的なタクシー配車アプリの活用 ・バス等の自動運転技術の活用検討	検討・準備										実施 (一部検討)	・タクシー配車アプリとして、「GOアプリ」を活用した。[タクシー事業者] ・「MaaS」等の事例研究を行い、ICT活用等を検討する。[市] ・引き続きタクシー配車アプリ「GOアプリ」を活用する。[タクシー事業者]	
施策2 連続性のある道路環境整備													
(1)公共交通による駅へのアクセス強化 ・主要交差点周辺の道路改良 ・信号機の運用見直しの検討	検討・準備				実施							南草津駅前、南草津駅口、南草津駅西の信号機を運用変更します。東口ロータリーから国道一号に向かう交通流の円滑化を図った。[交通管理者]	引き続き交通流の監視を行い、必要に応じて運用改善を検討する。[交通管理者]
(2)駅前ロータリーの機能性の向上 ・駅前ロータリーの機能の見直し ・自家用車の駅前ロータリーへの進入規制、誘導の検討	検討・準備				実施							・JR南草津駅周辺の交通対策について、社会実験結果を踏まえて、東西ロータリーの機能分担やバス待ち環境改善等の短期対策等について検討した。[市]	・JR南草津駅周辺の交通対策について、社会実験結果を踏まえて、バス待ち環境改善等の短期対策と東西ロータリーの改修等の中長期的な対策について、地域や関係機関等と調整を進める。[市]
(3)鉄道駅周辺のバリアフリー化の推進 ・重点整備地区内での段差の解消、誘導ブロックの設置等					実施							「草津市バリアフリー基本構想」の重点整備地区内での事業の進捗管理を行った。[市]	「草津市バリアフリー基本構想」の重点整備地区内での事業の進捗管理を行い、引き続き当該基本構想の推進を図る。[市]
(4)自転車走行空間の整備 ・既存道路空間を活かした自転車走行空間の整備					実施							自転車の安全で安心な利用環境を創出するため、自転車ネットワーク計画の進捗管理を行った。[市]	自転車の安全で安心な利用環境を創出するため、自転車ネットワーク計画の進捗管理を行い、必要に応じて関係部署と協議、検討する。[市]

施策3 鉄道駅における乗り継ぎ利便性の強化					
(1)鉄道とバスとの乗り継ぎ強化 ・鉄道との乗り継ぎを考慮した路線バスダイヤの調整	検討・準備	実施	継続	・市 ・鉄道事業者 ・バス事業者 ・タクシー事業者	・草津市観光案内所(JR草津駅改札前)にて観光ボランティアガイドが常駐し、来訪者へ交通情報および観光情報を提供した。[市] ・草津市観光案内所(JR草津駅改札前)にて観光ボランティアガイドが常駐し、引き続き来訪者へ交通情報および観光情報を提供する。[市]
(2)公共交通総合案内情報の整備 ・鉄道駅のデジタルサイネージ等を活用した公共交通総合案内情報の整備 ・公共交通ガイドブックの発行 ・草津市観光案内所における公共交通情報案内	検討・準備	実施	継続		・交通系ICカードでの精算方法の導入を検討した。[タクシー事業者] ・まめバス全車両への交通系ICカードICOCAの導入を検討する。[市] ・引き続き交通系ICカードでの精算方法の導入を検討する。[タクシー事業者]
(3)交通系ICカードの導入検討 ・ICOCA等の交通系ICカードの導入検討	検討・準備	実施			
施策4 鉄道駅周辺での自転車利用環境の整備					
(1)鉄道駅周辺での自転車駐車スペースの環境整備 ・需要に対応した駅周辺駐輪場の整備	検討・準備・実施			・市 ・鉄道事業者	・JR草津駅西口周辺の駐輪場利用に係る需要調査を含めた草津駅西口自転車駐車場建替工事実施設計や草津駅西口第5自転車駐車場の整備を開始した。[市] ・JR草津駅西口自転車駐車場建替工事実施設計に基づき、草津駅西口自転車駐車場建替工事を行う。また、一時的に草津駅西口第5自転車駐車場を整備し、自転車駐車スペースを確保する。[市]
(2)シェアサイクル・レンタサイクル事業の展開 ・シェアサイクル、レンタサイクル事業の展開	検討・準備	実施	継続		・需要調査結果等を踏まえて、再度シェアサイクル・レンタサイクルの導入手法について調査、検討を行う。[市]
(3)放置自転車の削減対策 ・放置自転車の撤去 ・啓発周知看板の設置	実施・継続				・JR草津駅およびJR南草津駅周辺における自転車等放置禁止区域において、放置自転車等の撤去を実施した。[市] ・JR草津駅およびJR南草津駅周辺における自転車等放置禁止区域において、引き続き放置自転車等の撤去を実施する。[市]

基本施策2 まちに愛着と誇りを抱き、地域の維持・活性化につなぐ公共交通

個別施策	事業展開スケジュール									実施主体	R4 取組実績	R5 取組予定		
	(前期)			(中期)			(後期)							
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8				R9	
施策1 まちづくりと連携した交通ネットワークの確立														
(1)サイクル&バスライドの環境整備の推進 ・バス停留所近辺への自転車駐車場の整備 ・サイクル&バスライドの利用促進											検討・準備 実施	・市 ・バス事業者 ・タクシー事業者 ・市民	・サイクル&バスライドの整備手法等について検討した。[市]	・サイクル&バスライドの整備手法等について引き続き検討する。[市]
(2)バス交通不便地等の新たな移動手段の導入検討 ・地域と連携した新たな移動手段の検討											検討・準備・実施	・「まめタク」について、利用状況等に基づき、令和4年11月30日からの本格運行に移行し、新たに草津駅接続路線(2路線)の実証運行を開始した。[市] ・まめバス「草津駅下笠線」の利用状況等を踏まえ、令和4年11月1日から本格運行に移行した。[市] ・令和4年10月1日から、まめバス「商店街循環線」の一部の便の運行経路を変更し、実証運行を開始した。[市]	・「まめタク」草津駅接続路線について、利用状況等に基づき、令和5年11月30日からの本格運行移行を目指す。[市] ・「まめタク」について、地域からの要望に基づき、休日運行や増便を検討する。[市] ・まめバス「商店街循環線」の一部の便について、利用状況等を踏まえ、令和5年10月1日からの本格運行移行について判断する。[市]	
施策2 福祉分野等と連携した移動手段の充実														
(1)生活支援サービスの充実 ・福祉有償運送事業の展開 ・移動支援事業の充実、福祉タクシー運賃等助成事業の実施											実施・継続	・タクシー事業者 ・市民 ・事業所	・市内3事業者が福祉有償運送事業を実施した。[市]	・市内3事業者において、福祉有償運送事業を継続する。[市]
(2)地域の主体的な助け合いの環境づくりの推進 ・地域支え合い運送の取組み支援											実施・継続	・市社会福祉協議会を通して、日常生活に支援が必要で移動が困難な人を対象とした住民主体による地域支え合い運送の取組支援を実施した。[市] ・学区の社会福祉協議会やまちづくり協議会が主体となり、志津南、山田、老上、老上西、南笠東学区で継続的に実施した。[市]	・引き続き、事業の継続と取組の拡大に向けた支援を行う。[市]	
施策3 広域的なバス路線の充実														
(1)隣接市と連携したバス路線網の強化 ・基幹軸となる路線バスの維持、確保 ・草津東東山くるとバスの運行の充実											実施・継続	・市 ・バス事業者 ・県	・「草津市地域公共交通網形成計画」の基本施策に基づき、くるとバスの運行を維持した。[市]	・「草津市地域公共交通網形成計画」の基本施策に基づき、くるとバスの運行を継続する。[市]
(2)大津湖南エリアの公共交通の充実 ・施設間の循環等を含むバス路線の再編検討 ・輸送力の高い連節バスの活用検討											検討	・大津湖南エリア地域公共交通活性化協議会を開催し、公共交通の充実につながる議論を行った。[県]	・南草津駅周辺の交通渋滞対策や利用者のバス待ち環境の整備等を進めるため、南草津駅周辺交通対策検討会を開催する。[県]	

基本施策3 自家用車に過度に頼らない意識を育み、健幸で明るい未来につなぐ公共交通

個別施策	事業展開スケジュール									実施主体	R4 取組実績	R5 取組予定	
	(前期)			(中期)			(後期)						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8				R9
施策1 モビリティ・マネジメントの推進													
(1)地域や事業所等でのモビリティ・マネジメントの推進 ・地域でのワークショップ等の開催 ・事業所モビリティマネジメントの促進 ・大学と連携した公共交通等の利用促進										実施・継続	<ul style="list-style-type: none"> ・市 ・鉄道事業者 ・バス事業者 ・タクシー事業者 ・市民 ・事業所 	<ul style="list-style-type: none"> ・志津学区で地元説明会を実施し、「まめタク」等の公共交通の利用促進を図った。[市] 	<ul style="list-style-type: none"> ・「草津市地域公共交通網形成計画」の基本施策に基づき、引き続き公共交通の利用促進を図る。[市] ・事業所に対して、モビリティマネジメントの促進を行う。[市]
(2)小学校等における交通環境学習の推進 ・小学校等におけるバスや電車の乗り方教室等の開催 ・課外授業等における路線バス等や鉄道の利用促進 ・交通安全教室やバリアフリー教室との連携										実施・継続		<ul style="list-style-type: none"> ・小学校(4校)において、バスや電車の乗り方教室を開催した。[市] ・市と協働して、小学校(7校)で交通環境学習(バスや電車の乗り方指導等)を実施した。[県] 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校において、バスや電車の乗り方教室を引き続き開催する。[市] ・引き続き、市と協働して交通環境学習(バスや電車の乗り方指導等)を開催する。[県]
(3)公共交通に関する情報提供の充実 ・市の広報誌やホームページの活用 ・公共交通ガイドブックの作成 ・イベント等での公共交通情報の提供										実施・継続		<ul style="list-style-type: none"> ・「まめタク」について、令和4年11月30日からの本格運行移行、草津駅接続路線の運行開始時に、まめタクマップを見直した。[市] ・「まめバス」について、「商店街循環線」の一部の便の運行経路変更時に、まめバスマップを見直した。[市] 	<ul style="list-style-type: none"> ・「まめタク」および「まめバス」のマップを統一できないかを検討し、必要に応じて双方のマップを見直す。[市]
(4)特徴を活かした連節バスの有効活用 ・イベント開催時等での臨時運行 ・大津湖南エリアでの活用検討										実施・継続(一部検討)			
施策2 いつでも誰でもが利用しやすい公共交通環境の整備													
(1)公共交通のバリアフリー化の推進 ・低床式車両(低床バス、ユニバーサルデザインタクシー)の充実 ・乗務員のバリアフリー研修の推進 ・交通案内情報の多言語化										実施(一部検討)	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・運行する車両の劣化状況等を確認しつつ、車両の更新等を実施した。[市] 	<ul style="list-style-type: none"> ・運行する車両の劣化状況等を確認しつつ、車両の更新等に当たっては、低床式車両の導入を検討する。[市]
(2)バス待ち環境の整備検討 ・上屋やベンチの設置等の検討										検討・準備	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・「南草津駅周辺交通対策検討会」において、バス待ち環境の改善について検討した。[市] 	<ul style="list-style-type: none"> ・JR南草津駅東口におけるバス待ち環境改善のため、バスシェルターの設置について実施に向けた設計を行う。[市]
(3)バスロケーションシステムや配車アプリの導入検討【一部再掲】 ・バスロケーションシステムの導入促進 ・スマートフォンのGPS機能を活用した効率的なタクシー配車アプリの活用										検討・準備(一部検討)	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシー配車アプリとして、「GOアプリ」を活用した。[タクシー事業者] 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きタクシー配車アプリ「GOアプリ」を活用する。[タクシー事業者]
(4)交通系ICカードの導入検討										検討・準備	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・交通系ICカードでの精算方法の導入を検討した。[タクシー事業者] 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き交通系ICカードでの精算方法の導入を検討する。[タクシー事業者]
(5)来訪者等の公共交通利用の促進 ・観光パンフレット等への公共交通情報の掲載 ・1日フリーバス等の企画乗車切符の販売検討										検討・準備	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・草津市観光物産協会にて作成している観光パンフレットに公共交通機関の情報を掲載した。[市] 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き観光パンフレット等に公共交通機関に関する情報提供を行う予定である。[市] ・利用者に対し、ポイントカード等の導入を検討する。[タクシー事業者]

施策3 高齢者が運転免許証を返納しやすい環境づくり				
(1)交通安全教室の充実 ・交通安全教室等の開催 ・交通安全シニアカレッジの開催 ・交通安全に関する情報提供		・市 ・鉄道事業者 ・バス事業者 ・タクシー事業者 ・市民 ・事業所 ・県 ・交通管理者	・交通安全指導員「わかばチーム」により、幼児や児童または高齢者を対象とした交通安全教室を開催した。[市] ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行い、交通安全シニアカレッジを開催した。[市] ・老人会を中心とした高齢者の会合の場において交通安全教室を実施した。[交通管理者]	
(2)高齢運転者の事故防止の促進 ・免許更新時の認知機能検査の実施 ・高齢運転者の事故防止に向けた情報提供			・「3法よし運転」の広報、周知を行い、地震に見合った運転意識付けを行った。[交通管理者]	・「3法よし運転」の中地、教育を引き続き行う。[交通管理者]
(3)運転免許証自主返納高齢者支援制度の充実 ・高齢者運転免許証自主返納者支援サービスへの協賛店の協力依頼 ・運転免許証自主返納高齢者への支援サービスの充実 ・自主返納意識の向上に向けた広報啓発の強化			・運転免許証自主返納者への運賃割引を実施した。[タクシー事業者] ・自主返納高齢者支援制度の実施した。[交通管理者]	・引き続き運転免許証自主返納者への運賃割引を実施する。[タクシー事業者] ・自負返納を迷っている人向けに「お試し自主返納」制度を取り入れる(R5. 5～)[交通管理者] ・自主返納高齢者支援制度の継続する。[交通管理者]